



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 秋田米が市場で評価され、全国における秋田県産米シェアが上がる

指標名	全国の米需用実績に占める秋田県産米シェア	指標の種類
指標式	秋田県産米の需要実績/全国の需用実績×100	●成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
目標a		5.54	5.55	5.56	5.57			
実績b	5.53		②データ等の出典					
東北	農林水産省：米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針							
全国								

③把握する時期  当該年度中 月  翌年度 11月  翌々年度 月

指標名		指標の種類
指標式		○成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
目標a								
実績b			②データ等の出典					
東北								
全国								

③把握する時期  当該年度中 月  翌年度 月  翌々年度 月

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法（データの出典含む）

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 秋田米ブランド再構築のためには「売れるあきた米」をつくる必要がある。そのために、生産・販売の両面から実需者ニーズに対応した「あきた米」をつくりあげる事業は適切である。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 「売れるあきた米」は、農家の所得にも反映する。農家の期待も高く、また、これら期待を反映した戦略会議の意見も反映しており、事業は適切である。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務  内部管理事務  県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

栽培技術体系の確立などは、品種を育成した県の責務であり県が実施すべきである。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

○重点事業 ○その他